

## 末期胆嚢癌再発治療：自宅での陶板浴 E 併用

今回取り組むのは、最も進行した状態(胆嚢癌術後の再発、胆管、肝臓、両肺、脊椎などへの転移あり)の患者さんで、

治療開始時の周波数は163Hz でした。テロメアは290ng と非常に低く、余命3ヶ月と予想されます。

治療開始当初は、オーラレベルでの O-リングテストのみとなっています。

改良された陶板浴 E システム(陶板浴 E+ハーモナイズ E)のオーラに対する効果は素晴らしく治療開始4日間で163Hz→88Hz まで一気に下がりました。

ここで、O-リングテストのオーラと肉体のレベルという課題が明らかになったため、5日目からは肉体レベルでの検査を行っています。

治療効果を確認するためには変化の大きいオーラレベルでの O-リングテストが必要となります。

まずはオーラレベルで周波数7.5Hz を目指します。年明けからはオーラレベルでの周波数も確認していこうと思っています。

この方は、陶板浴を購入されて自宅でも治療を開始(12/30 以降)されています。勿論、エネルギーサークル付きです。

オーラレベルでの治療は、陶板浴 E システムで十分です。一方、肉体レベルでの治療はオーラから肉体への波及には時間がかかりそうです。

とにかくガン患者さんの場合は、残された時間との闘いとなります。

そこで、肉体レベルへの治療を追加することにしました。一つは、重曹の点滴療法です。5日間 x 4クールを予定します。

もう一つ、本当に偶然??にも肉体に働きかける方法に気付きました。別の患者さんが持ってこられた血液から波動を採取した水が肉体レベルだけに

作用することが判明したのです。不思議なことに？オーラには反応しませんでした  
が…。

ハーモナイズを開始した時点から、血液や尿もハーモナイズの有効な手段であるこ  
とは分かっていました。

それらが、主に肉体レベルへのハーモナイズに有効かも知れません。早速、ハーモ  
ナイズに使えるか確認してみます。

1/4 新年あけましておめでとうございます。

今日は年末年始に考えていた、血液と尿をつかったのハーモナイズです。

事前に O-リングテストで調べてみると、血液の方が肉体レベルで周波数が良く下が  
るという結果でしたが、尿も結構下がります。

で、結局血液と尿の両方を使ってハーモナイズする事にしました。結果、  
158Hz→156Hz と肉体レベルで 2Hz 下がりました。

もう一人の患者さんでも 156Hz→153Hz と着実に下がりました。

O-リングテストで肉体のレベルとオーラのレベルの区別に気づいたとたん、肉体レ  
ベルの治療法が向こうからやってきてと話はどんどんと進み

血液と尿でハーモナイズするという極めてシンプルな方法にたどり着きました。確か  
に、誰かが Dr.Fujita の背を押してくれています。

1/5 陶板浴 E とハーモナイズ E (血液+尿) = (ハーモナイズ E +  $\alpha$  と呼ぶことにしま  
す) による治療は今日で 2 日目です。

陶板浴 E + 重曹点滴 + ハーモナイズ E +  $\alpha$  + 陶板浴 E の組み合わせで治療中です。

昨日の最終値 156Hz→152Hz と 4Hz 下がっています。オーラレベルの周波数も順調  
に下がっています。

1/6 肉体レベルで再度測定し直しているテロメアも 310 と増加しています。肉体レ  
ベルでの周波数も、毎日下がってきています。

1/7 今日は周波数 145Hz、テロメア 320です。4日間で周波数は10Hz 以上下がっています。

順調に経過していますので、来週は重曹点滴のない週ですが、毎日治療することにしました。

とにかく時間との闘いですので、できる限り集中して治療する予定です。

1/8 ハーモナイズ E+ $\alpha$  に変更して最初の週が終了しました。周波数は137Hzまで下がりましたので、今週だけで20Hz 近く下がりました。

この方の場合、治療終了時点から翌日来院された時点で更に周波数が下がるのです。

それも手伝って、予想を遙かに上回って周波数が下がっています。テロメアも330まで増加しています。

1/10 今日は日曜日。尿と血液が良いならば全身も良かろうと朝からデータをとっています。

これがなかなか良さそうなので、1/12(火)から投入することにしました。休み明けのデータにも注目です。

1/13 連休明けもデータは良好です。

新方式は全身よりも局所からがデータが良さそうなので肝臓から採取してハーモナイズに投入しました。

1日に10Hz 位下がるので間もなく100Hz を切れそうです。

1/14 血液検査の結果を持ってこられました。

		治療開始		
	H27.12.7	H27.12.15	H27.12.28	H28.1.12
白血球数	3490	4590	4440	5230
赤血球数	275万	272万	276万	320万
ヘモグロビン	9.1	9.2	9.3	11.2
ヘマトクリット	27.4	27.1	28.3	32.8
総たんぱく	6.5	6.8	6.7	7.6
アルブミン	3.8	3.8	3.9	4.1

治療開始したのが12月15日でしたから約1ヶ月が経過した1月12日の血液検査は実に興味深いものです。

ガンの末期になると癌性悪液質と言って、栄養状態がどんどん悪化の一途をたどるのが普通です。

ところがEシリーズで治療中のこの患者さんの場合、貧血も改善し蛋白質も増えて全体的に栄養状態が

自然と改善してきています。栄養状態の改善＝全身状態の改善ということですので、とても良い傾向だと思われます。

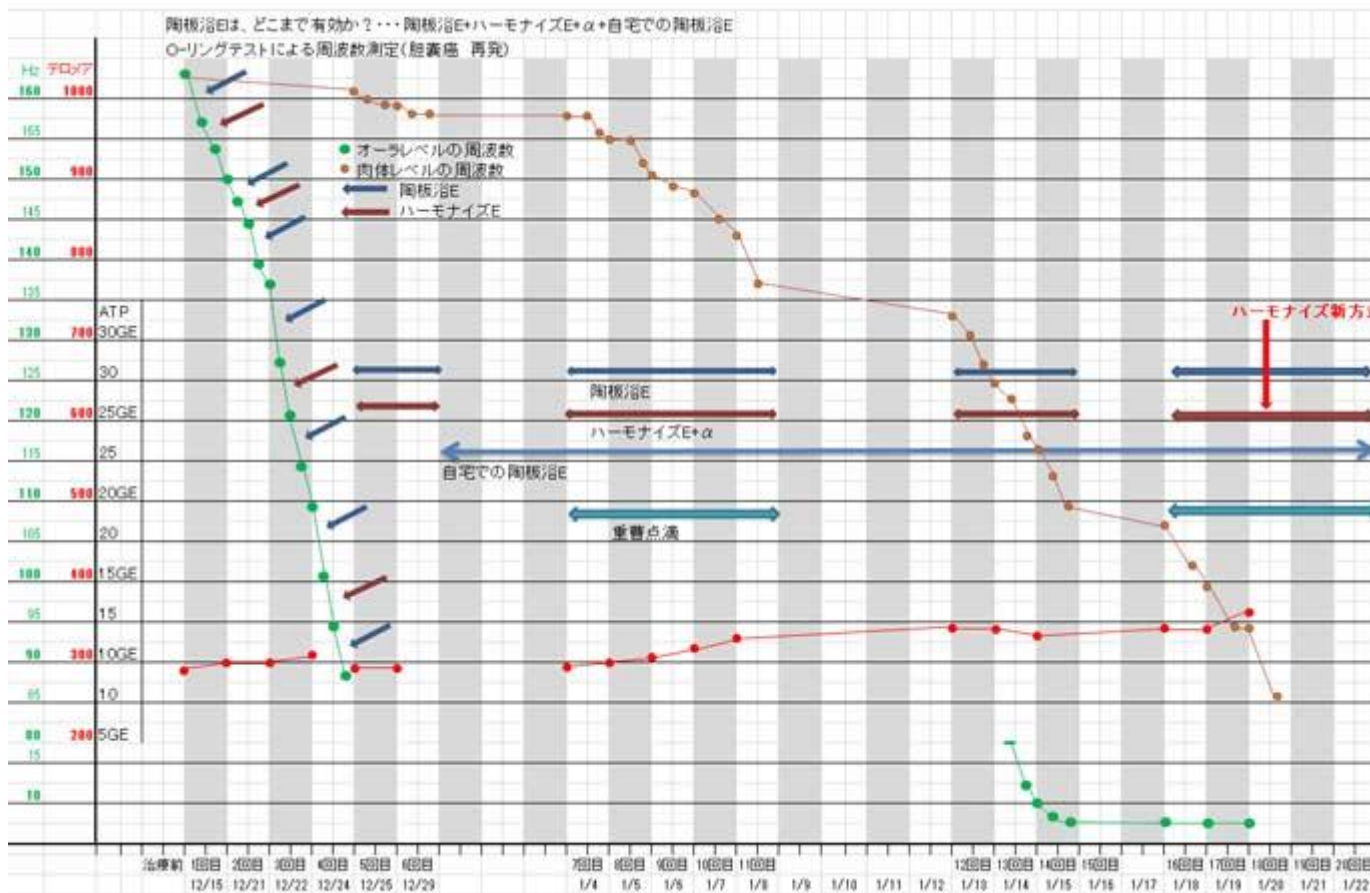
1/18 経過は順調です。

患者さんがご自分のサークルに8角形に木材を加工して追加されたようです。気分良好のようです！！

1/20 ハーモナイズE+ $\alpha$ を変更しました。(→「**ハーモナイズE改**」と呼ぶことにします)

理論上はこれまでの方式よりも遙かに強力になっていると思われます。

今後のデータの推移に注目です。他の患者さんも数日の内に変更予定しました。



1/29 **ハーモナイズE改**で使う材料を変更(波動増幅タイプのチップ)しました。今日から更に種類も増やしてあります。

予想値ですが、テロメア現在380が860まで増加します。**ハーモナイズE改**終了後、400まで増加していますので

期待大です。

2/1 **ハーモナイズE改**用の波動増幅タイプのチップの準備が徐々にできています。今日は更に6種類を投入してみることに。

予想値はテロメア410→1240と最大値まで増加します！！実際の**ハーモナイズE改**終了後はなんとテロメアが

510まで増加しました。とても有望です。現在新たに開発している**ハーモナイズE改**用の波動増幅タイプのチップは、そのまま波動転写水にも

利用できますので期待できます。

2/2 波動増幅チップを更に追加して、今日のテロメアはなんと510→660と150も増加しました。驚異的な増加ぶりです。このペースですと来週中には

テロメアの最大目標値1240に到達できそうです。

テロメア(上腕部で測定している健常部の値)と癌の部位のテロメアは反比例します。通常、癌の部位はテロメアの値が高く

例えば2000位(それだけ細胞分裂が盛んということです)、そのために健常部である上腕部のテロメアは低くなります例えば

300とかいうふうに。反対に癌のテロメアが下がれば(細胞分裂ができない状態)、上腕部のテロメアは高くなります。

つまり、上腕部のテロメアが高いと言うことは、癌の分裂が抑えられているということなのです。

抗がん剤や放射線療法を受けると、上腕部のテロメアは下がります……癌の周波数も下がっていますが……癌の部位の

テロメアは上がっているということになります……癌をやっつけているのかいないのか??

使用する波動増幅タイプのチップの種類によって、テロメアを大きく増加させるものが数種類判明しています。

使用している大半のものはテロメアを10ずつ増加させることも分かりました。…勿論、患者さんによって使用する種類は異なります。

別の患者さん(肺癌)ですが、今日のテロメアは560で治療をスタートしました。今日までに出来上がっている全ての波動増幅タイプのチップを

調べて、必要なものをピックアップしました。治療後はなんとテロメアが770まで増加しています。たった1日で210も増えたこととなります。

テロメアの測定結果に疑問(あまりにも急速に変化するので)はありますが、治療法が大幅に改善されたことは間違いないと思われます。

2/3 今日も波動増幅チップを2種類追加しました。テロメア大幅に増加し治療終了後890に達しました。

胆嚢癌の探索棒も間もなく閉じそうです……まさかこれほどの勢いで癌がなくなっているとも思えません……それにしても！！です。

\*余談:現在**ハーモナイズE改**で使用している波動増幅タイプのチップの話……アトピー用のチップを合わせるとOリングテストで+6レベルまで

閉じます。これはこれで十分に凄い(+4以上は治療に使えと言われます)のですが、最新の癌用チップのセットではなんと+34レベルまで閉じます。

癌用チップの開発がそれだけ進んでいるということでしょう。

現在使用中の癌用チップには、まだサプリメントからの波動は取り入れていません……サプリメントが既に手元には無いものがほとんどですので

再度作るにも時間が必要です。さてさて、どうしたものか……？

フコイダン・中国パセリ・乳酸菌・藍・ベンズアルデヒド・レヨベースは常備してありますので、取りあえずこの辺りを作ってみて良さそうなら

全てを1から作り直さなければいけません……世に出ている癌に効くとされるサプリは山のようにあります！！大変な作業になりそうです……

2/4 今日は波動増幅チップの追加はありませんが、テロメアは1140と昨日の最終値890から250も増加しています。

そして、とうとう胆嚢癌の探索棒の反応がなくなりました。反応が無かったのでホッととして、更なる追求を思いつかず終了。

その後、いろいろと考えて明日はもう一度その他の癌関連の反応が無くなっているか調べてみます。

いずれにしても、間もなく癌の全ての反応がなくなります……O-リングテストでは検査のしようがなくなる??ので、

今後の治療経過の評価が困難となりそうです…どうする??

2/5 どうとうテロメアは MAX の1240に到達しました。ちょっと悩んだ効果の判定は、探索棒に早期発見用のものが反応しますので

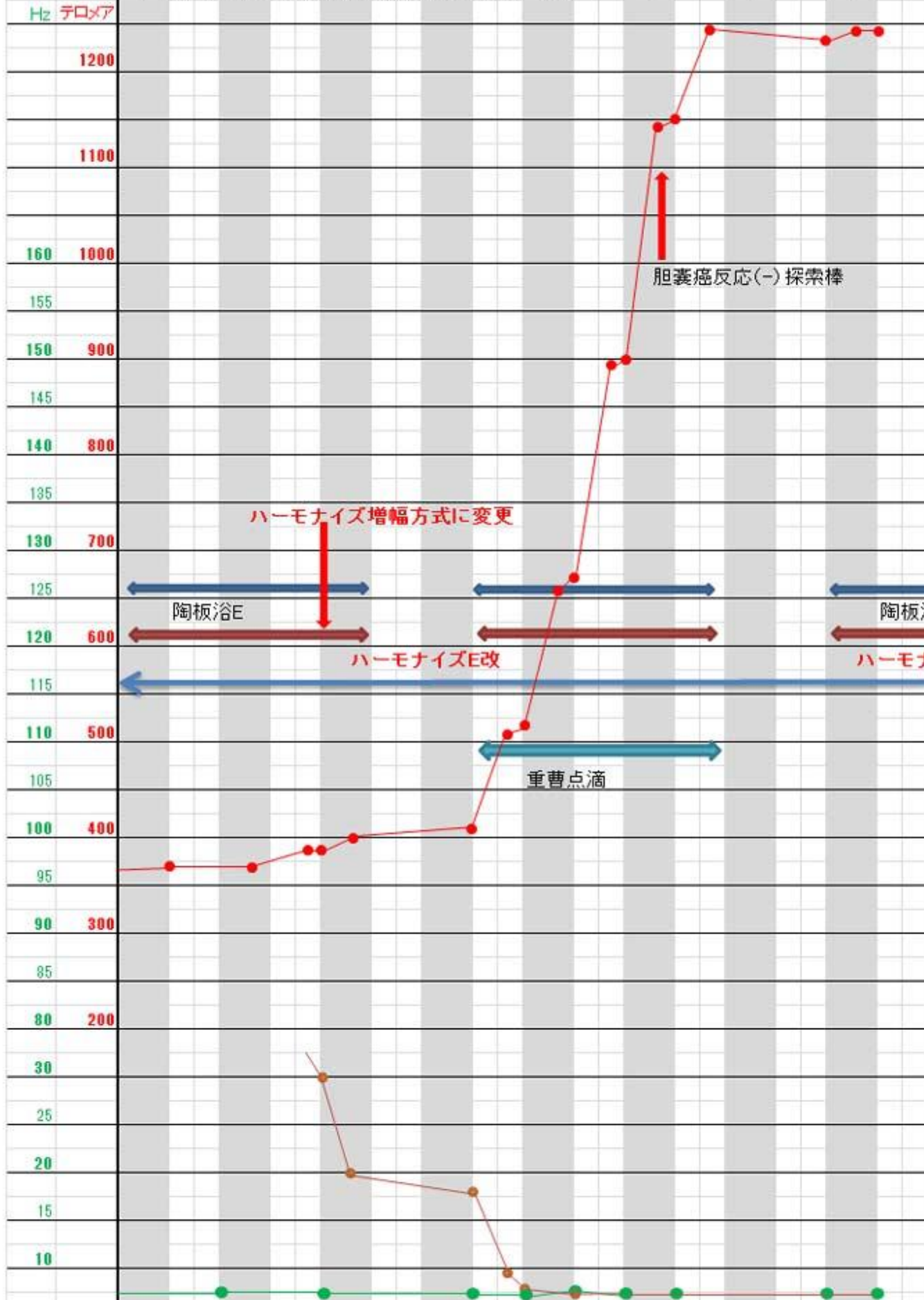
当分はこれを使うことにしました。最終的には波動増強チップが不要になれば OK ということにしました。最も敏感なのは波動増強チップのようです。

いずれにしても、今後はテロメア、周波数とも指標には使えませんので、探索棒と波動増強チップでみていこうと思います。

探索棒:U2(胆嚢癌)は既に反応ありません。あと U2・IRT は反応があります。で、探索棒 4種類、波動増強チップ 6種類を次回確認予定しています。



陶板浴Eは、どこまで有効か？・・・陶板浴E+ハーモナイズE+α+自宅での陶板浴E  
 Oリングテストによる周波数測定(胆嚢癌 再発)



2/8 テロメアは 1240 に達していますので、波動増強チップと探索棒で反応の有無を確認していくことにします。

全てが-になれば OK です。

2/9 探索棒の反応がぐっと少なくなり、U2・テラヘルツ(癌反応)だけが残っています。

波動増強チップはまだまだ全てに反応があります。

	2/8	2/9	2/10
テロメア	1240	1240	
<b>波動増強チップ</b>			
A	+	+	
B	+	+	
C	+	+	
D	+	+	
E	+	+	
F	+	+	
<b>探索棒</b>	2/8	2/9	2/10
U2(胆嚢癌)	+	-	
U2・IRT(癌消失)	-	-	
U2・テラヘルツ(癌反応)	+	+	
U2(癌探索棒)	+	-	
C・エレガンス	+	-	